

卒業生の実務習熟度調査(2015年7月)

卒業生アンケートについて

この度、卒業生アンケートを昨年度に実施しました。そのねらいは本校卒業生の各職種における実務の習熟がどの程度かを把握することにより、今後の学内授業に反映させたいということで実施させていただきました。初めての卒業生に対するアンケート調査となり、対象者が分かりにくい、何人もの卒業生が在職しているところとどこに焦点をあてて回答するのが難しいなどの意見を多くいただきました。その中でも、本校の卒業生はこんな状況であるというご意見をいただき、集計させていただきました。今後多くの意見を頂いている中から1つでも臨床実践能力の向上にむけ教育できるよう努力してまいります。

回収率 65.1%

平成27年7月

	看護 33/41	検査 25+10/44+14	工学 14/27	合計 82/126
1. 卒業生の社会人としてのマナー				
ア. 身につけている	13	10	3	26
イ. 少し気になるところはあるが十分やっていける	15	18	8	41
ウ. 不十分などころはあるが改善しようとしている	2	6	2	10
エ. 身につけていない	1	1	1	3
オ. その他	3	1	0	4
2. コミュニケーション能力はいかがですか				
ア. 身につけている	15	7	4	26
イ. 少し気になるところはあるが十分やっていける	13	17	7	37
ウ. 不十分などころはあるが改善しようとしている	3	11	3	17
エ. 身につけていない	1	0	0	1
オ. その他	2	1	0	3
3. 職員の知識レベルはいかがですか				
ア. 身につけている	10	8	5	23
イ. 少し気になるところはあるが十分やっていける	13	14	6	33
ウ. 不十分などころはあるが改善しようとしている	8	12	2	22
エ. 身につけていない	0	0	1	1
オ. その他	1	0	0	1

4. 職員としての技術レベルはいかがですか

ア. 身につけている	4	11	3	18
イ. 少し気になるところはあるが十分やっつけける	20	12	8	40
ウ. 不十分などころはあるが改善しようとしている	6	10	3	19
エ. 身につけていない	0	0	0	0
オ. その他	3	1	0	4

5. 職員として自分の役割を理解し行動できるか

ア. 出来ている	18	12	5	35
イ. 少し気になるところはあるが十分やっつけける	11	17	7	35
ウ. 不十分などころはあるが改善しようとしている	3	4	2	9
エ. 出来ていない	0	1	0	1
オ. その他	1	1	0	2

6. 卒後の勉強をしていますか

ア. 出来ている	18	13	8	39
イ. 少し気になるところはあるが十分やっつけける	11	11	4	26
ウ. 不十分などころはあるが改善しようとしている	3	10	1	14
エ. 出来ていない	0	1	1	2
オ. その他	1	0	0	1

7. 学会(院内)発表等の取り組みはいかがですか

ア. 学会発表等はすでに経験している	6	7	6	19
イ. テーマを見つけて準備している	3	3	2	8
ウ. 学会発表等をしようと思っている	6	15	4	25
エ. 学会発表等について関心がない	1	8	1	10
オ. その他	18	6	2	26

8. チーム医療への貢献度はいかがですか

ア. 十分貢献できている	7	5	7	19
イ. 足りないところはありますが、チーム医療に貢献しようという意識はる	23	15	7	45
ウ. 貢献しようとしているがなかなかできていない	1	4	0	5

エ. 貢献しようとしていない	0	0	0	0
オ. その他	3	8	0	11
9. 医療者としての倫理感はありますか				
ア. 身につけている	12	17	7	36
イ. 少し気になるところはあるが十分やっつけている	15	12	5	32
ウ. 不十分などころはあるが改善しようとしている	3	5	2	10
エ. 身につけていない	0	0	0	0
オ. その他	2	1	0	3

10. 本校卒業生に良いところ、よくないところ

11. 学校事業にたいするご意見

「その他」の意見

1. 卒業生(就職者)の社会人としてのマナーはいかがですか

- マナー教育は継続して教育が必要—看護
- 緊張感に欠けるところがある—検査

2. コミュニケーション能力はいかがですか

- 人により対応が気がかりな人もいる—看護
- 言葉使いに学生を感じる—検査

3. 職員の知識レベルはいかがですか

- 学習は自己だけでは難しい—看護

4. 職員として技術的レベルはいかがですか

- 段階的に修得が必要—看護

5. 職員として自分の役割を理解して行動していますか

- 一職員としての役割行動はみられるようになっている—看護
- 先輩が横で忙しそうにしている、お喋りしたりくつろいだりしている時がある—検査

6. 卒後の勉強をしていますか

- 個人差がある—看護

7. 学会(院内)発表等の取り組みはいかがですか

- 院内で決められた教育内容で研究発表を行うー看護
- 今のところ意欲は伝わってこないー検査
- 今はまだ、知識蓄積で精一杯のようですー検査
- 今後させていく予定ー工学

8. チーム医療への貢献度はいかがですか

- 頑張っ努力する必要があるー看護
- 卒後1年目なのでまだこれからですー看護
- 検査センターとしては十分貢献できていますー検査
- まだ余裕がないようですー検査

9. 医療者としての倫理観はありますか

- 倫理観の育成にも継続が必要ー看護

10. 本校卒業生の良いところ、良くないところなどご自由にお書きください

- 皆さん素直な所、誠実な心で関わりをもっていますー看護4
- 良いところは、皆頑張り屋さんで、知識、技術の向上に努めていますー看護
- 全体的に礼儀正しい印象があります。倫理観、看護倫理については、臨床教育での影響が大きいとは思いますが、全体的に再教育が必要な人が多い印象があります。この部分が看護の軸となると思うので学生の1年目からしっかり教育していく必要があると感じていますー看護2
- 当初自主的に勉強する姿が見られないのが気になりましたが、研修会にも積極的に参加し、学習意欲を高めています。患者様にも優しく丁寧に接する事ができチームメンバーとして頑張っていますー看護
- 社会性、協調性、自立ができていると思うー看護
- その日の業務の出来具合によって気分の浮き沈みがあり、次の業務にも影響してします。素直であり、自分なりに努力しているー看護
- 知識や技術についてはレベル的に低いとは感じていない。社会人マナーについて問題になるところがある。個人差もあり、まじめなスタッフとそうでないスタッフとの差が激しい。個別での指導の強化をお願いしますー看護
- 個人によって差があります(差が大きいです)マナー、コミュニケーション能力、知識レベル、技術レベルについては全体的に向上を目指していただければありがたいです。気持ちはあるが、実践につながりにくい傾向にあるようです。卒業生の中には、部署の役割モデルに値する方もいらっしゃいますー看護
- 良いところは、明るく元気で前向きさが伝わってくる。勉強に対しても(テーマ)きっちりやってくる。心が豊かである。良くないところは、積極性に欠ける面がある。行動に対してスローな一面がある。ー看護2
- 卒業生は人間的にも知識的にも技術的にも優秀だと感じています。ー看護
- 仕事はテキパキとこなせておりますが、チームワークをとることは苦手なようです。ー看護
- 良いところは、明るくだれとでも話を楽しめる所、良くないところは自己判断で行動しがち主張が強いところー検査
- 良いところは、すべてにわたってよくなろうと努力している所、良くないところは、結果が努力にともなっていないところ、また、夜間の学生はできるだけ検査に関わる仕事(アルバイト)が良いと思う。夜間でも基本的な技術が身につけられるような実習内容を希望したいー検査
- 社会人として基本的なことは知っているが、おとなしく、例えば明るく大きな声でのあいさつができないと思います。面接でもそうですが、第一印象は大切です。ハキハキと大きな声で話すといった日常で実践できるよう指導していただければ幸いです。ー検査
- 基礎的な知識の習得ができており、業務に対して前向き取り組みます。積極性が若干不足しているように思いますが、協調性があり、仕事には堅実に取組んでいるように思います。ー検査
- 良いところはまじめなところ、良くないところは積極的でない、医療者としての倫理観が不足しているー検査
- 良いところは謹直、良くないところは受身ー検査
- 技術面での修得が早く、周囲の状況を確認し、自分のすべきことを判断できている。患者様や職員とのコミュニケーションもうまくとれており、新人職員としてとても優秀です。ー検査
- 与えられた課題に対し、まじめに取組んでいる。ー検査

- 仕事に取り組む姿勢は、真面目な方が多い印象を持っています。現場で頼れる技師は卒業生に多い印象です。社会人としてのマナーに関しては大学卒の方より劣ると思いますが、いい人材が多いと感じています。－検査
- 卒業生は基本的に社会的であり、現場での溶け込みが早いというのは良いところですが、ただもう少し臨床検査に対する基礎知識があればスムーズに研修が行えるようになると思います。－検査
- 年々社会人としての責任感が薄れてきている気がする。－検査
- 卒業後の職場での自己の医業スキル(知識・技術)向上の努力が不足しているように感じます。卒後3年以内に自己の医業スタイルを確立することは非常に重要であり、大切な時期と思いますが、“ゆとり世代”はあまり緊張感が感じられません。－工学
- 知識については臨床についての知識量が高いと感じます。また、業務に取り組む姿勢、目標設定等、自身の考え、行動力について備わっており成長が早いと感じます。ただ、メイン業務以外での知識(例えば医療ガス設備、マイナーなME機器)に関しては少し乏しい感があります。－工学
- 最近では学カレベルが下がっているように感じます。ものごしがやわらかくなった分、向上心は下がったような・・・難しいところです。－工学
- 卒業生はしっかりしている印象を受けます。学校での教育の質や先生方の指導力が高いと感じております。－工学
- 本人たちの性格によるかもしれませんが、他人のことに興味を示さないところがあります。先輩や実習生に対してもう少し関わりをもってもらえたら成長すると思います。－工学
- 在学期間が1年と短い事もあって、授業で教わっていない分野が多く見られます。－工学

11. 学校事業についてご意見をお聞かせ下さい。

- 卒業後、学校と臨床の間では実践能力に大きなギャップがあり、少しでも多くの実践能力を身につけてほしいと思います。－看護
- 今後とも就職説明会などの機会を企画の継続とインターシップの機会があればと思う－看護
- 就職ガイダンスの際、個別面談のみでなく、学生全員に対するプレゼンの検討をお願いします－検査
- 3ヶ月の病院実習で検査センターでの実習も組み入れてもらい、検査センターの良い面も見てほしいと感じます。－検査
- 他人への説明能力向上(プレゼン等)に向けた教育の充実－検査
- 早い段階から専門性を持たせて頂きたい。基本的な事はともかく業務範囲が広がっている。特に生理機能検査は多種多様で技術的にも高度な能力を要求される。－検査
- 検査の基礎能力も重要ですが、社会性、協調性や積極性のある人材を現場は求めていることを学生にしっかり伝えておいてほしい。－検査
- 国家試験対策だけでなく、論文発表の練習などがあればいいのでは－検査
- 就職して勉強は終わりではなく、知識・技術向上のために努力が必要であることのアドバイスは学生の頃から伝えてほしい。卒業後も学生どうしの情報交換の場は必要。(悩むことが多いと思いますが、職場では相談しにくいこともあるため)－検査
- 今後、卒業生や就職先の施設と定期的に交流がもてるコミュニケーションの場があればぜひ参加させていただきたいと思います。特に先生方とは定期的ご連絡できればと思います。その中で様々な意見交換をできることを期待します。－工学
- もう少し新しい機器を準備していただきたいと思います。－工学
- 圧倒的に実技の卒前修練が不足しているように感じる。清潔物品の扱いが理解不足－工学